

## 社会 ろ過実験

社会の「健康な暮らし」の「ごみのゆくえ」では、パッカー車体験やクリーンランドへ行きました。また、「水のゆくえ」では原田処理場に行くなど様々な体験や見学を通して学習してきました。今回は、水がどのようにして、飲み水のようなきれいな水になっているのかについて知るために、豊中市上下水道局から手作りのろ過装置をお借りして、ろ過実験を行いました。

### ① 沈殿実験

水道水にカオリンという粉を入れ、水を汚れさせます。その汚れた水に凝集剤を入れて振ると、薬品が汚れをかためて汚れだけが沈みます。さらに、そのままでは、きれいではないためさらに砂の入ったろ過装置に通してさらにきれいな水にしていきます。



## **② 残留塩素実験**

**普段飲んでいる水道水は、ろ過をしたのちに消毒をして飲み水になっています。残留塩素実験では、水道水に塩素に反応する薬品を入れ、消毒がきちんとされているかを見ました。**



**実験を通して、どんどん水がきれいになる様子を見ることが出来ました。「健康な暮らし」では、ごみを減らしたり、水を大切にしたりするために自分たちには何ができるかについて考えることが出来ました。学習を通して考えたことを、生活に生かしてほしいと思います。**